

「主の十字架と復活の恵み」

ローマ6：1－4

堀田修一 25・4・20

本日は、2千年前の金曜日に、主が私たちの罪の為に贖いの血を流し十字架で死なれ、三日目の今日、死に勝利し復活された恵みをお祝いするイースター礼拝です。

I 主の十字架の恵み

「キリストは自ら、十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた（私たちの罪を負い私たちの身代わりに神の聖なる刑罰を十字架で受けて死に、十字架の血による私たちの贖い、償い、完全な赦しを完了された）」Ⅰペテロ2：24。これに続くことばがある→「それは（主が十字架で私たちの罪を完全に償い赦しを完了させられたのは）、私たちが罪から離れ、義（神の前に正しいこと、神に受け入れられ喜ばれること）のために生きるため。」：24。主が私たちを救われたのは、私たちが、そのまま罪にとどまるためではなく、新しい人として主の恵みへの感謝と御聖霊の力に頼って、罪から離れ、義＝主のために感謝しつつ生きるためです。

Ⅱ「罪に対して死んだ私たちが、どうしてなおも罪のうちに生きていられるでしょうか」：2。「罪に対して死んだ（不定過去時制：一度限り起こって完結した出来事）私たち」とは、私たちが、主を信じた時に、御聖霊により主と霊的に結合されて、主と共に十字架で罪に対して死んだという意味です。これは御聖霊の助けなしに私たちの頭では理解できません。主を信じ主と霊的に結合し、主とともに死んだ私たちは、罪に対して死に、今は、罪のうちにではなく、幸いなことにキリストのうちに生かされているのです。このローマ6：1－11を良く理解する鍵は、キリストを信じると罪の赦しが与えられると同時に、「キリストと霊的に結合する驚くべき恵み」が与えられるという真理です。その深い真理を3－4節で説き明かされます。※主との霊的な結合の恵みは、主を信じる人の心の罪がなくなり、この世で罪との戦いがなくなるという意味ではないことも聖書全体の教えです。日々、主の姿に変えられるのです。

Ⅲ「それともあなたがたは知らないのですか。キリスト・イエスにつくバプテスマを受けた私たちはみな、その死にあずかるバプテスマを受けたではありませんか」：3。私たちは、バプテスマ、洗礼という儀式で人が救われるのではない（「バプテスマは肉の汚れを取り除くものではありません。…健全な良心が神に対して行う誓約です」Ⅰペテロ3：21）と聖書から教えられています。バプテスマ、洗礼という主が命じられた聖なる儀式の意味は、「人が主を信じる時、御聖霊が心に宿られ＝聖霊のバプテスマにより霊的に主を信じる人は主と霊的に結合し、主とともに死に、主とともに葬られ、主とともによみがえり、新しいいのちを受けている。その霊的な恵みの事実を公の儀式で表わす（体全体を水に浸す＝主と共に死に、葬られたことを表わす。水から上げられることは、主とともによみがえる恵みを表わす）」ということです。ですから、この6：3、4の「バプテスマ」は、儀式としての洗礼ではなく、聖霊のバプテスマを意味しています。その根拠のみことばは→「私たちはみな、ユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人も、一つの御霊によってバプテスマを受けて、一つのからだとなりました（霊的にキリストと結合し、

キリストの一つのからだなる教会)。そして、みな一つの御霊を飲んだのです」(Ⅰコリント12:13)。感謝すべき事に、私たちを救うのは、神が御霊を通して行われる、この途方もないみわざです。御霊は私たちをアダムの中から取り上げ、キリストに組み込み、つぎ合わされ、キリストにつく聖霊のバプテスマを受けさせて下さる。この先行する恵みがあるからこそ私たちは救われる。ご聖霊により罪を示され、自分の罪の為に十字架の血で罪の償いをし死なれ復活された主を信じる私たちに与えられる恵み。

Ⅳ「私たちは、キリストの死にあずかるバプテスマ(御霊の内住によるキリストとの霊的な結合のバプテスマ)によって、キリストとともに葬られたのです。それは、ちょうどキリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも、新しいいのちに歩むためです」：4。御霊なる神により主を信じる者は、御霊による新生、新しいいのちが与えられます。主を信じる私たちの心には、この地上にいる間は、罪の性質が残っており、罪との戦いは生涯続く聖書は教えています。しかし、主を信じる私たちには、主の内住、聖霊の内住、新しいいのち、罪と戦う力が与えられています。

神が下さる新しいいのちによる歩みをみことばから教えられ励ましを受けましょう！

1. 主が私たちの罪のために十字架で死なれ、復活され、聖霊がこの世に来られ、私たちの心に働きかけ、私たちの罪を示し、主を信じる信仰と新しいいのちを与えて下さる。「聖霊によるのであれば、だれも『イエスは主です』と言うことはできません」Ⅰコリント12:3。「人は、水(聖霊によるきよめ)と御霊によって(新しく)生まれなければ(洗礼の儀式による救いではなく御霊による救い)、神の国に入る(救われる)ことはできません」ヨハネ3:5。人間の知識で主を信じる人はいない。先行的神の恵み！
2. 汚れた心、生活から新しいいのちを与え新しい品性に変え続けて下さる。「私たちはみな…主の栄光を映しつつ、栄光から栄光へと、主と同じかたち(義と愛の性質)に姿を変えられていきます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです」Ⅱコリント3:18。
3. 盗みやけちな人生から、神がすべてを与えておられる恵みを感謝し、愛と識別力をもって神に献げ人々に喜んで与える新しい人生に神は変え続けて下さる。「主イエス御自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである。』と言われた」使徒20:35。※主が変えて下さる証し。
4. 殺人=人を憎み心の中で殺す人生から、主が罪人のかしらである自分を赦されたことを心から感謝し、人を赦す人生に神は変えて下さる。「互いに親切にし、優しい心で赦し合いなさい。神も、キリストにおいてあなたがたを赦してくださったのです」エペソ4:32。神の赦しがなければ既に滅んでいる。
5. 不正を行う人生から、神の前に正しいことを選ぶ人生へ。神が与えて下さる愛は「不正を喜ばずに、真理を喜びます」Ⅰコリント13:6。世の終わりの主の再臨の時、「私たちはそれぞれ自分について、神に申し開きをすることになります」ローマ14:12。主を信じる人生でなければ不正の誘惑は強い。
6. 不平、不満、つぶやきの人生から感謝を忘れない新しい人生へ。「主が良くしてくださったこ

とを何一つ忘れるな」詩篇 103：2。「感謝の心を持つ人になりなさい」コロサイ 3：15。
恵みを数える。人は寄り添ってくれる人、不平ではなく感謝の心を持つ人の所に集まって来ます。
教会にも。

7. 罪、悪をごまかす人生から、神と人に誠実に生きる新しい人生へ神は変えて下さいます。
「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たち
をすべての不義からきよめてくださいます」Ⅰヨハネ 1：9。

8. 人の目にマイナスに見える弱さが恵みへ「わたしの恵みはあなたに十分である。わたしの力は
弱さのうちに完全に現れるからである」Ⅱコリント 12：9。

9. 地上の生涯を終え、死を迎えたら、主が待っておられる天国に迎え入れられる恵みを感謝しま
す。「イエス様。あなたが御国に入られるときには、私を思い出してください」イエスは彼に言わ
れた。「まことに、あなたに言います。あなたは今日、わたしとともにパラダイスにいます」ルカ
23：43

祈り：十字架の主、復活の主とつながり、主がいつもともにおられる新しい歩みが与えられ、神の
時に、天国に行き、主にある神の家族に再会でき、主の再臨の時に栄光のからだに復活する恵
みを感謝します。